

「水田フル活用と規模拡大で地域貢献！」

森口 英樹 (45 歳) Uターン
(愛南町)



1 就農の動機・理由

兼業農家であったため、幼い頃から農業には縁があり、農業の担い手になりたい気持ちがずっとあった。

勤務する会社を退職したことを機に、親の経営の手伝いをしながら農業について学び、平成 30 年 4 月に父から経営を継承して就農した。

○主要農業機械

トラクター	2 台
コンバイン	1 台
田植機	1 台
移植機	1 台
軽トラック	2 台
動力噴霧機	1 台
管理機	2 台

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (平成 30 年)	現在の経営 (令和 3 年)	将来の経営 (令和 6 年)
労働力	男 2 人(本人、父) 女 1 人(母)	男 2 人(本人、父) 女 2 人(母、妻)	男 2 人(本人、父) 女 2 人(母、妻)
経営耕地	水田 139 a	水田 788 a	水田 828 a
経営内容	水稲 50a 飼料用米 89a 秋冬ブロッコリー 10a	水稲 522a 飼料用米 266a 秋冬ブロッコリー 198a 春ブロッコリー 200a	水稲 562a 飼料用米 266a 秋冬ブロッコリー 214a 春ブロッコリー 200a

○農業用施設

農業用倉庫 2 棟

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県愛南町
職歴 協和砂利株式会社
就農年月 平成 30 年 4 月

(2) 就農時の思い

就農前から栽培管理の基本的なノウハウは理解していたが、いざ自分の経営として始めると上手くいかないことや分からない事ばかりで非常に不安であった。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

両親のアドバイスや JA 営農指導員からの栽培技術指導等により技術習得に努めた。

(2) 資金の準備

自己資金、農業次世代人材投資事業(経営開始型)及び青年等就農資金を活用した。

(3) 農地・住宅の確保

父が利用権を持つ農地と、近隣農地を借地して確保した。

また、実家に家族と住んでいる。

(4) その他苦労したこと

就農後、正品率の向上に苦労した。圃場によっては病虫害防除や雑草管理等が難しい場合もあり、各圃場の特徴を考慮して栽培管理に取り組む事に最初のうちは慣れなかった。

5 農業経営の特徴

安定した農業経営を行うため、新規需要米である飼料用米の生産拡大に取り組むとともに、裏作で地域の振興品目であるブロッコリーを栽培することで水田を最大限に有効活用している。

6 これからの夢

農業の担い手が減り、耕作放棄地が増える中で、計画的な規模拡大により、少しでも多くの農地を守り、地域の仲間とともに産地の維持・拡大に貢献し続けたい。

7 成功したキーポイント

まだまだ成功とは言えないが、近隣農家や地域住民との繋がりができ、当地域の気候に適した栽培管理のポイントとともに、農地に関する情報共有ができた事が大きいと思っている。それにより、農地の貸借がスムーズに進み、早い段階から農地の集積・集約ができた。

8 就農を目指す方へのアドバイス

就農して定着していくためには、近隣のベテラン農家や関係機関を始め、多くの人々との繋がりが必要不可欠です。分からない事は遠慮せずに聞く等、

周囲の人達と積極的にコミュニケーションを取る事を心がけると良いと思います。

○ 指導機関からのひとこと

森口さんは明るく誠実な人柄で地域にも溶け込んでいます。また、計画的な投資と規模拡大により、就農3年目で水稲、ブロッコリーともに作付面積が管内でトップクラスになり、地域の中心的な担い手の一人となっています。

今後も引き続き経験を重ね、自己研鑽に励み、地域の担い手としてご活躍されることを期待しています。

執筆機関

南予地方局産業振興課地域農業育成室
愛南農業指導班

電話番号 0895-72-0149



ブロッコリーの収穫作業